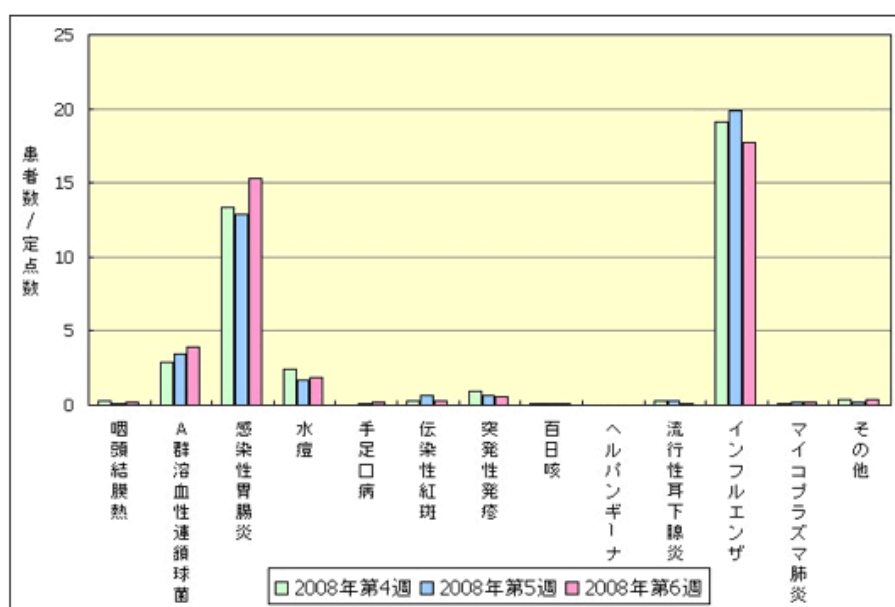


小児感染症の第6週(平成20年2月4日から平成20年2月10日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

- 感染性胃腸炎は、引き続き、中央・北部において高い傾向が続いています。
- インフルエンザは、市内全域で流行が続いています。都全体としては第5週(1月28日～2月3日)の患者報告数を受け、「流行注意報」が発令されました。
- 今週は、麻疹の届出はありませんでした。風疹は、中央・北部の医療機関より、30代女性1名の報告がありました。



第6週疾患毎発生状況グラフ

	2008年	2008年	2008年	2008年	2008年	2008年	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週				
咽頭結膜熱	5↑	2↓	3↑	4↑	1↓	3↑	1	1	1	0
A群溶血性連鎖球菌	8↓	18↑	28↑	38↑	45↑	51↑	30	5	6	10
感染性胃腸炎	89↓	201↑	166↓	174↑	167↓	199↑	103	24	55	17
水痘	26↓	50↑	17↓	31↑	22↓	24↑	7	3	12	2
手足口病	1↓	2↑	0↓	0↓	1↑	3↑	2	0	0	1
伝染性紅斑	6↓	6↓	0↓	4↑	8↑	4↓	4	0	0	0
突発性発疹	3↓	11↑	18↑	12↓	9↓	7↓	4	1	1	1
百日咳	0↓	0↓	0↓	1↑	1↓	1↓	1	0	0	0
ヘルパンギーナ	0↓	0↓	1↑	0↓	0↓	0↓	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	2↓	4↑	3↓	4↑	4↓	1↓	0	0	1	0
インフルエンザ	56↓	125↑	149↑	249↑	258↑	230↓	73	33	90	34
マイコプラズマ肺炎	2↑	0↓	1↑	1↓	3↑	3↓	0	0	0	3
その他	1↓	9↑	2↓	5↑	2↓	5↑	0	0	5	0

第6週疾患毎発生状況表

	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～6ヶ月	0	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～12ヶ月	1	0	15	1	0	0	0	0	0	0	7	0	1
1歳	1	3	27	5	0	0	6	0	0	0	9	0	1
2歳	0	0	9	3	0	2	0	0	0	0	12	0	2
3歳	0	5	25	6	0	1	0	0	0	0	23	1	0
4歳	0	6	11	2	1	0	0	0	0	0	26	0	0
5歳	0	10	21	4	0	0	0	0	0	0	27	0	0
6歳	1	4	18	2	0	0	0	0	0	0	27	1	0
7歳	0	7	12	0	0	1	0	0	0	0	28	1	1
8歳	0	6	6	0	0	0	0	1	0	0	18	0	0
9歳	0	2	6	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0
10～14歳	0	6	20	0	2	0	0	0	0	0	28	0	0
10～12歳											19		
13～14歳											9		
15～19歳	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
20歳以上	0	2	19	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0
合計	3	51	199	24	3	4	7	1	0	1	230	3	5

第6週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所